

二枚貝類飼育技術研究会でポスター発表

12 月 17、18 日に兵庫県姫路市で開催された、水産研究・教育機構主催の二枚貝類飼育技術研究会に当センター職員が出席し、二枚貝飼育用餌料として保有する珪藻の培養方法「*Chaetoceros* sp.の無通気培養について」をポスター発表しました。

発表内容に対して、一般的に行われている培養方法（通気培養）に比べ非常に簡便かつユニークであると参加者の多くから興味を持たれ、早速現場視察の要望があがるなど、非常に好評でした。

本研究会は、アサリやトリガイ、ハマグリ等の二枚貝類の種苗生産、養殖技術に係る情報交換の場として設立されたもので、二枚貝の飼育に関する様々な課題について議論し、新たな技術や知見を情報収集する場として、毎年多数の機関が参加しています。今後も府内の二枚貝類養殖発展のため、他機関との情報交換に努めていきたいと考えています。

Chaetoceros sp.の無通気培養について

京都府農林水産技術センター海洋センター 研究部 谷本 尚史

当所で使っている*Chaetoceros* sp.の特徴

- ・京都府内海(阿蘇海)で採取したものを単離培養(昭和52年頃)
- ・連鎖せず、大きさは5-8 μ m
- ・増殖スピードが速い
- ・*C.neogracile*とは、核18S rDNAで1/1739塩基、28S rDNAでは15/583塩基が異なる。種は現時点では不明。
- ・トリガイ(過去にはイワガキ、ハマグリも)の孵化直後から沖出しまで餌料として使用

無通気培養のメリット

- ・気泡の破裂による海水スプレーがないため培養室の塩害が起こりにくい。
- ・エアチューブに起因するコンタミが起こらない。
- ・フラスコ等の植継の際、エアチューブの取り扱いを気にする必要がない。
- ・コンプレッサーが要らず、簡易な設備で低コストかつ簡便に培養できる。



無通気培養の様子

発表内容の一部